

野洲クリーンセンターの余熱を利用する施設稼働について

野洲クリーンセンターの余熱を利用し、元気と健康を創出する持続可能な活性化拠点とするため、野洲市健康スポーツセンターが令和2年7月15日（水）に開所し、同センター内の温水プールや温浴施設に野洲クリーンセンターからの余熱がサーマルリサイクルされている。

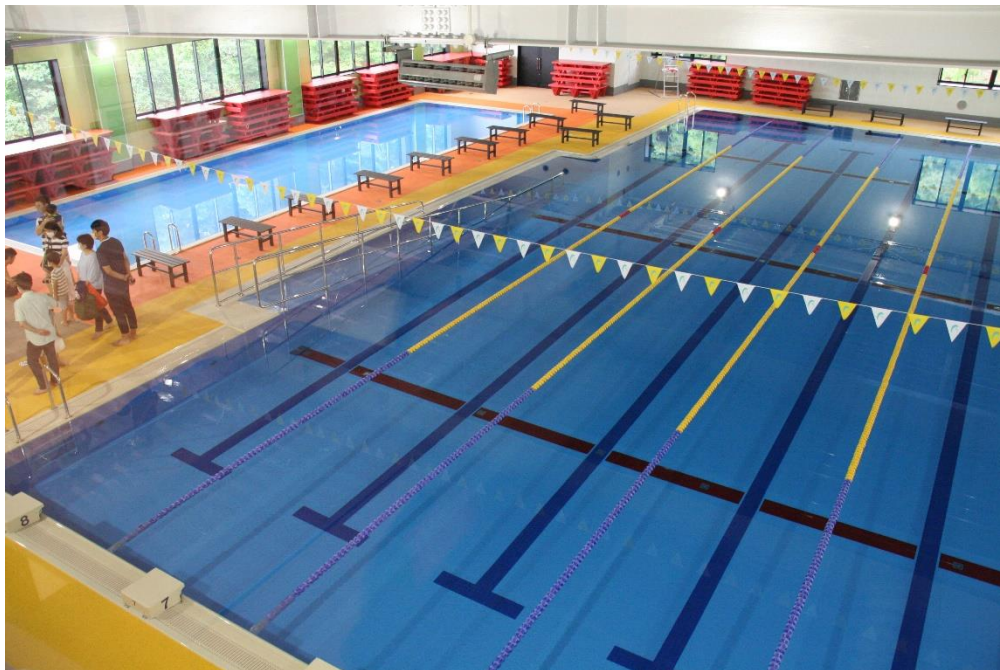
1. 施設の概要

- (1) 所在地 野洲市大篠原 3333 番地 6
- (2) 敷地面積
10,023.22 m²
- (3) 建築物
鉄骨造（一部鉄筋コンクリート） 地上2階・地下1階
（建築面積 1,833.11 m²、延べ床面積 2,847 m²）
- (4) 施設概要
 - ① 温水プール
25mプール8コース（水深 1.2m）、子どもプール（水深 0.55m）
 - ② トレーニングルーム（30～40人）、フィットネススタジオ（60人）
 - ③ 温浴施設（男女別 毎時間 80人程度）
 - ④ 特産物販売所

<野洲市健康スポーツセンター>



<温水プール>



<温浴施設>



2. バックアップ用ボイラーについて

野洲クリーンセンターからの余熱が不足したり、供給できなくなった場合に備え、同スポーツセンター内に熱供給のバックアップ用ボイラーが2基設置されている。

- (1) 設置台数 2基
- (2) 燃料 LPガス

(3) 定格燃料使用量（1台カタログ値） 27.0 m³N/時間

(4) バックアップする場合の稼働状況

間欠運転。台数制御機能があり、設定水温に1台で対応できない場合には、2台目も運転する。

(5) 稼働実績

開所して間もないため、現在のところバックアップボイラーのみの運転となった状況はなく、バックアップが必要となった期間やその時の燃料使用量、それによる温室効果ガスの排出状況については、同スポーツセンターの施設管理状況のデータにより把握したい。

*野洲クリーンセンターからの熱供給

生活環境影響調査事後調査（平成30年1月）によると、余熱利用できる熱量を灯油に換算すると、年間431.1キロリットルに相当し、余熱利用することにより排出抑制できる温室効果ガス量は、年間1,073トン-CO₂に相当する。